

令和4年6月に発生した農作業死傷事故 8月のワンポイント 農林水産省HP等による公表

タイトル

草刈り時安全対策を万全に！
(6月に発生した農作業死傷事故と8月のワンポイント)

<6月に発生した農作業死傷事故:40件>
農業機械作業に係る死傷事故:27件
うち 乗用型トラクター 10件 ほか

その他の死傷事故:13件
うち 作業者の転落・落下事故 9件 ほか

○6月は16件の死亡事故を含む40件の死傷事故が報告されました。
○報告された死亡事故は、トラクターを含む農業機械の転落・転倒によるものが9件と過半を占めています。
○一方で、トラクターごと道路から1.5m下の農地に転落したものの、シートベルトを装着していたため軽傷に終わった事例も報告されました。シートベルト装着は、命を守る最も基本的な対策です。

<8月のワンポイント>

○8月は例年、草刈りによる事故が多く発生しています。典型的な事故は、6月にも紹介したキックバックのほか、次のような事例が報告されています。

- ①後方など死角にいた別の作業者に気づかずに傷つける事故
- ②駆動を止めないまま、からまった草を取ろうとして指などを切る事故
- ③傾斜での作業中に転倒して自分の体を切ったり、用水路などに転落する事故

○組作業の時は事前にルールを決める、草刈作業をしていない時は機関停止、滑りづらい安全靴やすね当てなど保護具の利用など、あらためて基本的な安全対策を徹底しましょう。

**6月に発生した農作業死傷事故
8月のワンポイント**

令和4年農作業安全確認運動
しめよう！シートベルト

刈払機作業の保護具の使用



① 防護面
(出来ればヘルメットも併用)

② 長袖・長ズボン

③ 減振(革)手袋

④ 前掛け、サロペット

⑤ 長靴

⑥ 脱着スパイク

保護メガネだけでは顔(頬)に飛び散った物が当たりとても痛い

軍手は編み目が粗く、飛来物がすき間を通り手に当たり痛い

長靴は、ビニル(PVC)の軽い物が良い。ゴム引きの厚みある物は回転刃から足を保護しますが、重さは疲れ易くなります。暑さは激しく疲労し、作業時間を短くして、疲れる前に休憩を挿入します

▲ 軍手を2重にすると少し良い

● 防振(減振)革手袋